

年を締めくくるイベントも大盛況



↑イベント一番の盛り上がりを見せた木の家のもち投げ

平成25年を締めくくる大型イベント「平成25年度長島フエスタ 産業・福祉・健康祭り」が、12月8日、町文化ホール周辺で開催され、この日は約3千人が詰め掛けました。

同ホール内では「野田郷島津太鼓」(出水市)による迫力ある太鼓の演奏で幕を開けました。山口正成実行委員長が「本町は農林漁業など一次産業が盛んな町。町民を主体としたこのイベントで長島の農産物、海産物を楽しんで」とあいさつしました。

会場内では、川内市医師会立市民病院の脳神経外科科長、田實謙一郎先生を講師に迎えた脳卒中予防講演会には多くの参加者が耳を傾け、健康相談コーナーなどにも行列ができました。

このほか会場周辺では各種団体の出店が軒を連ね、B & G体育館内では、農産物品評会やバレーショ抽選会が行われ、多く



↑農産物品評会で販売されたジャガイモなど

の来場者が訪れました。

午後からは、東町漁業協同組合青壮年部(須寄隆文部長)によるお魚大抽選会や会場内に設けられた木の家の棟上げともち投げ、お楽しみ抽選会などがあり、にぎわいを見せました。

出水市から訪れた佐々美帆さんは「長島のイベントに初めて訪れた。長島の美味しい農産物や海産物などを楽しめるイベントで楽しかった」と笑顔を見せました。



↑ぼかし肥料講習会では輪になって肥料作りを学ぶ



オープニングを飾った野田郷島津太鼓の演奏↑